

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2006-334899(P2006-334899A)
 【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)
 【年通号数】公開・登録公報2006-049
 【出願番号】特願2005-161423(P2005-161423)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月30日(2008.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体の幅に相当する記録幅をもつように前記記録幅の方向に複数の記録素子を備えた記録ヘッドを時分割駆動し、前記記録媒体を前記記録幅の方向とは垂直の方向に搬送して記録を行う記録装置であって、

前記記録媒体を搬送する搬送手段と、

前記複数の記録素子の内、少なくとも一部の記録素子を、前記搬送手段による記録媒体の搬送方向に関し重複して備え、該重複部分では、該重複部分の記録素子により相互補完的に記録を行う相互補完記録手段と、

前記相互補完的に記録を行うために用いられる前記重複部分の記録素子の駆動に関し、前記時分割駆動による駆動の順序を一致させるように制御する時分割駆動制御手段とを有することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記複数の記録素子を備えた記録ヘッドを前記記録媒体の搬送方向に少なくとも 2 つ備えることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記時分割駆動制御手段は、前記少なくとも 2 つの記録ヘッドの内、第 1 の記録ヘッドに含まれる複数の記録素子を複数のブロックに分割し、第 2 の記録ヘッドに含まれる複数の記録素子を各ブロックに含まれる記録素子の数が前記第 1 の記録ヘッドと同じとなるように複数のブロックに分割し、前記複数のブロック夫々に属する複数の記録素子の駆動順序を、前記第 1 の記録ヘッドと前記第 2 の記録ヘッドとで同じとするよう制御することを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記第 1 の記録ヘッドと前記第 2 記録ヘッドとで 1 つの組を構成し、前記 1 つの組に属する記録ヘッドは同色インクを吐出する記録ヘッドであることを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記記録ヘッドは、1 つの記録素子基板上に前記複数の記録素子を備えることにより構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記記録ヘッドは、前記複数の記録素子の数より少ない数の記録素子を備えた複数の記録素子基板を複数個結合することにより構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記複数の記録素子基板同士の接合部が、前記時分割駆動のためのブロックの端部と一致することを特徴とする請求項 6 に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記 1 つの記録ヘッド内で、複数の記録素子からなる記録素子列を複数構成し、該複数の記録素子列の少なくとも一部が前記記録媒体の搬送方向に関し重複して配置されることを特徴とする請求項 6 に記載の記録装置。

【請求項 9】

記録媒体の幅に相当する記録幅をもつように前記記録幅の方向に複数の記録素子を備えた記録ヘッドを時分割駆動し、前記記録媒体を前記記録幅の方向とは垂直の方向に搬送して記録を行う記録方法であって、

前記複数の記録素子の内、少なくとも一部の記録素子を記録媒体の搬送方向に関し重複して備え、該重複部分では、該重複部分の記録素子により相互補完的に記録を行う相互補完記録工程と、

前記相互補完的に記録を行うために用いられる前記重複部分の記録素子の駆動に関し、前記時分割駆動による駆動の順序を一致させるように制御する時分割駆動制御工程とを有することを特徴とする記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

即ち、記録媒体の幅に相当する記録幅をもつように前記記録幅の方向に複数の記録素子を備えた記録ヘッドを時分割駆動し、前記記録媒体を前記記録幅の方向とは垂直の方向に搬送して記録を行う記録装置であって、前記記録媒体を搬送する搬送手段と、前記複数の記録素子の内、少なくとも一部の記録素子を、前記搬送手段による記録媒体の搬送方向に関し重複して備え、該重複部分では、該重複部分の記録素子により相互補完的に記録を行う相互補完記録手段と、前記相互補完的に記録を行うために用いられる前記重複部分の記録素子の駆動に関し、前記時分割駆動による駆動の順序を一致させるように制御する時分割駆動制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

また他の発明によれば、記録媒体の幅に相当する記録幅をもつように前記記録幅の方向に複数の記録素子を備えた記録ヘッドを時分割駆動し、前記記録媒体を前記記録幅の方向とは垂直の方向に搬送して記録を行う記録方法であって、前記複数の記録素子の内、少なくとも一部の記録素子を記録媒体の搬送方向に関し重複して備え、該重複部分では、該重複部分の記録素子により相互補完的に記録を行う相互補完記録工程と、前記相互補完的に記録を行うために用いられる前記重複部分の記録素子の駆動に関し、前記時分割駆動による駆動の順序を一致させるように制御する時分割駆動制御工程とを有することを特徴とする記録方法を備える。